

韓国・朝鮮文化研究会第 19 回研究大会

シンポジウム「コンテンツ時代における文化財」

日時：2018 年 10 月 20 日（土） 10:30～18:00

場所：東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟 1 階
文学部 3 番大教室

交通アクセス：https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

施設案内*：https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_07_j.html

* 赤門脇の赤門総合研究棟・経済学研究科棟に隣接した建物です。



プログラム



10:30～11:50

一般研究発表（司会：井出弘毅）

本田洋「韓国の農村移住と農村の資源化に関する試論：智異山麓山内地域の事例から」
カン・ハンナ「韓国映画が生み出す再記憶」

13:10～18:00

シンポジウム「コンテンツ時代における文化財」（企画：辻大和，司会：金良淑）

趣旨説明：辻大和

報告Ⅰ：金廣植「朝鮮民俗学会と「民俗」の「文化財」化」

報告Ⅱ：丁田隆「〈未開な風習〉が文化財になるとき——済州島巫俗の受難と栄光」

報告Ⅲ：金賢貞「韓国の登録文化財制度と「日帝残滓」の資源化」

18:30～20:30

懇親会（フォーレスト本郷 1 階ルヴェゾンヴェール本郷）

大会参加費 1,000 円

懇親会費（有職者）5,000 円／（学生他）3,000 円



韓国・朝鮮文化研究会第 19 回研究大会委員会

E-mail: 19taikai@askcs.jp